

Q文書(ギリシア語テキスト決定版)の日本語訳(1)

山田耕太

イエスの生涯と思想を描いた福音書の中で、ヨハネ福音書ではなく共観福音書(マタイ福音書・マルコ福音書・ルカ福音書)の方が資料として重要であることが明らかになったのは19世紀初頭であった。さらに、共観福音書の中で、マタイ福音書でなく、マルコ福音書が先に書かれたというマルコ優先説が確立し、それとマタイ福音書とルカ福音書が共通に用いたイエスの言葉による「Q資料」(ドイツ語「資料」“Quelle”の頭文字)を共に用いたという二資料説が19世紀初めに唱えられ⁽¹⁾、19世紀後半に確立した⁽²⁾。その後、1945年に4世紀後半に書かれたトマス福音書が発見され⁽³⁾、その形式ばかりでなく内容もQ資料と重なる部分が三分の一近くあることから、Q資料は仮説ではなく実在した文書であり「Q文書」と呼ばれるようになり、さらに物語福音書に対して言葉福音書として「Q福音書」と呼ぶ人々も現れた⁽⁴⁾。

20世紀初頭からQ文書の範囲とそのオリジナルのギリシア語テキストを復元する作業が試みられたが⁽⁵⁾、それを確定するのは困難であり、しばしばルカ福音書とマタイ福音書の該当箇所のギリシア語テキスト対照表を用いてきた⁽⁶⁾。しかし、1989年にJ. M. ロビンソンとJ. S. クロッペンボルグが中心になって「国際Qプロジェクト」(International Q Project)を立ち上げ、共観福音書の本文研究、編集史研究、トマス福音書の研究成果等を用いて、オリジナル版Qテキストの復元作業に取り掛かり、その成果は「国際Qプロジェクト・テキスト」として公表された⁽⁷⁾。それに基づいてJ. M. ロビンソン、P. ホフマン、J. S. クロッペンボルグが編集者となって改訂版を出したのが「Q批評版」(Critical Edition of Q)というQ文書のギリシア語オリジナル・テキストを復元した決定版である⁽⁸⁾。以下では、F. ネイリンクの「国際Qプロジェクト・テキスト」と「Q批評版」を見開きで並置した対照テキストを見ながら、大部分は主として「Q批評版」に基づいて日本語訳を試みている⁽⁹⁾。しかし、両者で確定できない一部の流動的なテキストについては必ずしも「Q批評版」によらず、ある個所では「国際Qプロジェクト・テキスト」に依り⁽¹⁰⁾、また両者を採用していない個所もある⁽¹¹⁾。以下は、約200年間に亘るQ研究の集大成とも

いうべきQ文書のギリシア語オリジナル・テキストを復元した日本語訳の最初の試みである。このテキストに基づいた註解書を公表する前に、マルコ福音書よりも20年近く前に書かれたと想定される最古の「失われた福音書」とも言うべきテキストを日本語に訳して、イエスの思想の原点に近づく道を開きたい。

尚、Q研究の慣例に基づいて、Qテキストの章節は、オリジナル・テキストの順序と言葉を比較的によく保存しているルカ福音書の章節を用いる。また、ラテン数字によるQ文書の四つの大きなブロック分けとその見出し、丸カッコ数字による12の中段落分けとその見出し、Qナンバーによる54の小段落分けとその見出しは、訳者のものによる。さらに〔 〕または《 》内は必ずしも確定できないが確からしいと思われる言葉であり、()内は訳者が補った言葉であり、< >または… は不明の部分である。また、見出し以外でゴチック体のテキストは旧約聖書の引用箇所、小段落の終りにその出典個所が示されている。その中で使われているLXXは70人訳聖書の略号である。

Q0 序文：[(これらは) イエスの (言葉である)]

I. 洗礼者ヨハネとイエスの説教

(1) 洗礼者ヨハネの説教とイエスの誘惑物語

Q1 洗礼者ヨハネの悔い改めの説教 (Q3:2b-3a, 7-9, 16b-17=マタイ3:7-10, 11-12)

2b <…>ヨハネは…

3a <…>ヨルダン川のすべての流域で<…>。

7a 洗礼を受けるためにやって来た〔群衆に対して〕〔言った〕。

b 蝮の末裔たちよ、

c 来たるべき御怒りから逃れられると誰があなたがたに教えたのか。

8a むしろ悔い改めにふさわしい実を結べ。

b 私たちには先祖にアブラハムがいると、自分自身の中で考えてもみるな。

c というのは、私はあなたがたに言う、

d 神はこのような石ころからさえも

e アブラハムの子孫を起こすことができるからである。

9a しかし、斧は既に木の根元に置かれている。

b 良い実を結ばないすべての木は、切り倒されて火に投げ入れられる。

- 16b 私はあなたがたに水〔で〕洗礼を授ける。
 c だが、私の後に来られる方は私よりも強い。
 d 私はその方のサンダルの紐を〔解く〕に値しない。
 e その方こそあなたがたに〔聖なる〕霊と火で洗礼を授けるであろう。
- 17a 彼は手に箕を持ち、脱穀場で脱穀し、その倉に穀物を集めるであろう。
 b だが、もみ殻は消えることのない火で焼き尽くされるであろう。
- Q2 イエスの誘惑物語 (Q4:1-4, 9-12, 5-8, 13=マタイ4:1-11)
- 1 だが、イエスは、霊に〔よって〕荒野〔に〕〔導か〕れて〔いった〕。
 2 悪魔によって試みを〔受けるため〕であった。そして、40日間…
 飢えていた。
- 3a すると、悪魔は彼に言った。
 b もしお前が神の子ならば、これらの石がパンになるように言え。
- 4a すると、イエスは〔彼に〕答えた。
 b 次のように書いてある。人はパンのみで生きるのではない。
- 9a 〔悪魔は〕彼をエルサレムに連れて行き、神殿の頂きの上に立たせて彼に言った。
 b もしお前が神の子であるならば、自分の身を下に投げてみよう。
- 10 次のように書いてあるからだ。お前のために彼の天使らに命じて
 であろう。
- 11 すると彼らは両手でお前を引き上げ、お前の足は石を打つことは
 決してない。
- 12a イエスは彼に〔答えて〕言った。
 b 次のように書いてある。あなたの主なる神を試みてはならない。
- 5 悪魔は彼を極めて高い山に連れて行き、彼にこの世の国々とその
 栄えを見せた。
- 6a そして、彼に言った。
 7 もしお前が私に跪くならば、
 6b これらすべてをお前に与えよう。
- 8a イエスは彼に〔答えて〕言った。
 b 次のように書いてある。あなたの主なる神に跪きなさい。そし
 て、彼にのみ仕えなさい。
- 13 すると悪魔は彼を離れて行った。

4:4b:LXX申命記8:3b、4:10-11:LXX詩編90:11a、12 (=91:11a、12)、4:12a:LXX申命記6:16、4:8:LXX申命記6:13 (5:9)

(2) イエスの大説教 (野の説教・山上の説教)

Q3 弟子に対する幸いの言葉 (Q6:20-23=マタイ5:3、6、4、11-12)

20a <…>そしてイエスは〔目を〕〔上げ〕て、弟子たちに〔向かって〕言った。

b 幸いである、貧しい人々は。神の国は〔あなたがたのもの〕だからである。

21a 幸いである、飢えている人々は。〔あなたがたは〕満ち足りるようになるからである。

b 幸いである、〔嘆き悲しむ〕人々は。〔あなたがたは慰められるようになる〕からである。

22a 幸いである、あなたがたは。人の子のゆえに、人々があなたがたを罵り、〔迫害〕し、

b あなたがたに〔対して〕〔あらゆる〕悪口を〔言う〕時には。

23a あなたがたは喜び、〔歎びなさい〕、

b 天においてあなたがたの報いは大きいからである。

c というのは、このようにして彼らはあなたがたより以前の預言者たちを〔迫害した〕からである。

Q4 あなたがたの敵を愛しなさい (Q6:27-28、35、29-32、34、36=マタイ5:44、39b-40、42、7:12、7:46-47、45、48)

27 あなたがたの敵を愛しなさい。

28 〔そして〕あなたがたを〔迫害〕する人々のために祈りなさい。

35a こうしてあなたがたの父の子となるためである。

b 父は悪人の上にも〔善人の上にも〕太陽を輝かせ

c 〔正しい者の上にも正しくない者の上にも雨を降らせ〕て下さるからである。

29a あなたの頬を〔打つ〕者には、

b 反対の頬をも向けなさい。

c 〔あなたを訴えて〕下着を〔取ろう〕とする者には、

d 上着をも〔取らせなさい〕。

30a あなたに求める者には与え、

b 〔貸している者から〕返してもらわないようにしなさい。

- 31a 人々があなたがたにして欲しいと望むように、
 b そのようにあなたがたも彼らに行ないなさい。
- 32a もしあなたがたを愛する者たちを愛したとしても、
 b どんな報いがあるか。
 c 徴税人でさえも同じことを行なっているではないか。
- 34a もしも〔あなたがたが取り戻すつもりで貸すのであれば、
 b どんな報いがあるか。〕
 c 〔異邦〕人でも同じことを行なっているではないか。
- 36a あなたがたの父が憐れみ深いように、
 b あなたがたも憐れみ深く〔な〕りなさい。
- Q5 裁いてはいけない (Q6:37-42=マタイ7:1-2、15:14、10:24-25、7:3-5)
- 37a …あなたがたは裁いてはいけない。… (そうすれば) あなたがたは裁かれない。
 b 〔なぜならば、あなたがたが裁く裁きによって、裁かれるからである。〕
- 38 〔また、〕あなたがたが量る秤によって量られるからである。
- 39a 果して盲人が盲人を導くことができようか。
 b 二人とも穴に落ちるのではないか。
- 40a 弟子は教師に優ることはない。
 b 〔弟子が〕教師のようになれば〔十分である〕。
- 41a しかし、なぜあなたの兄弟の目にある塵を見ながら、
 b 自分の目にある梁に気づかないのか。
- 42a どうしてあなたの兄弟に…
 b あなたの兄弟の目にある塵を取ることを赦して下さいと (言えようか)。
 c しかも見よ、あなたの目にある梁があるではないか。
 d 偽善者よ、先ず自分の目から梁を取りなさい。
 ef そしてその後で、あなたの兄弟の目から塵を取るために、はっきりと見なさい。
- Q6 木と実の譬え (Q6:43-45=マタイ7:18、16)
- 43a …良い木が悪い実を結ぶことはなく、
 b 〔また〕悪い木が良い実を結ぶこともない。
- 44a なぜならば、木はその実から知られるからである。

- b 茨からいちじくを集めるだろうか、アザミからぶどうを集めるだろうか。
- 45a 善い人は善い倉から善い物を取り出し、
 b 悪い〔人〕は悪い〔倉〕から悪い物を取り出す。
 c なぜならば、口は心から溢れ出ることを語るからである。
- Q7 家を建てた人の譬え (Q6:46-49=マタイ7:21、24-27)
- 46a なぜあなたがたは…主よ、主よ、と私を呼んで、
 b 私が言うことを行なわないのか。
- 47a 私の言葉を聞いて、
 b それらを行なう人はすべて、
- 48a 岩の上に〔自分の〕家を建てた人に似ている。
 bc 雨が降り、川が洪水になり、
 de 〔風が巻き起こり、〕 その家に吹き込んでも、
 f それは倒れなかった。
 g なぜならば、岩の上に土台が据えられていたからである。
- 49a 〔私の言葉を〕聞いて、
 b 〔それらを〕行なわない人は〔すべて〕、
 cd 砂の上に自分の家を建てた人に似ている。
 ef 雨が降り、川が洪水になり、
 gh 〔風が巻き起こり、〕 その家に吹き込むと、
 i それはすぐに倒れた。
 j しかも〔その倒れ方は〕ひどかった。
- Q8 百人隊長の僕の癒し物語 (Q7:1、3、6-9=マタイ8:5-10)
- 1a 〔そして〕これらの言葉を〔語り終えると〕
 b カファルナウムに入って行った。
- 3a 彼のところに百人隊長が来て、
 b 彼に懇願して〔言った〕。
 c 〔私の〕子が〔病気です〕。
 d すると彼に言った。
 e 〔私が〕行って彼を治しましょうか。
- 6a だが、百人隊長が答えて言った。
 b 主よ、我が屋根の下にお入り頂くのに値しません。
 7 むしろお言葉を言って下さい。そうすれば、私の子は癒されます。

- 8a というのは、私も権威の下にある人間で、
- b 私の下に兵隊たちがいるからです。
- cd そして、この者に「行け」と言えば行きます。
- ef 他の者に「来い」と言えば来ます。
- gh 私の奴隷に「これを行なえ」と言えば行ないます。
- 9a しかし、イエスは〔これらを〕聞いて驚かれ、
- b 従っている人々に言った。
- c 私はあなたがたに言う、イスラエルの中にこのような信仰を一度も見出したことがない。

(3) 洗礼者ヨハネとイエスの弟子に対する称賛の説教

Q9 ヨハネの問い合わせ (Q7:18-19、22-23=マタイ11:2-6)

- 18a ヨハネは〔すべてこれらのことを聞いて〕
- b 派遣し〔た〕彼の弟子たちによって、
- 19a 彼に〔言った〕。
- b あなたこそ来たるべき方ですか、それとも私たちは〔別の〕方を待つべきでしょうか。
- 22a するとイエスは彼らに答えて言った。
- b 行って、あなたがたが聞いていることと見ていることをヨハネに伝えなさい。
- c 盲人は目が見えるようになり、足萎えは歩き回り、
- d らい病人は清められ、耳しいは聞こえるようになり、
- e そして死人は蘇えり、貧しい者は福音を聞いている。
- 23 そして、私に躓かない人は幸いである。

7:22 イザヤ書26:19、29:18-19、35:5-6、42:5-6、18、23:19、61:1

Q10 イエスの弟子に対するヨハネの称賛の説教 (Q7:24-28=マタイ11:7-11)

- 24a だが、彼らが立ち去った後で、ヨハネについて群衆に語り始めた。
- b あなたがたは何を眺めるために、荒れ野に出て行ったのか。
- c 風に揺らぐ葦か。
- 25a そうでなければ、何を見るために出て行ったのか。
- b 豪華な服を纏った人か。

- c 見よ、豪華な服を着た人々は、王たちの家々の中にいる。
- 26a そうでなければ、何を見るために出て行ったのか。
 - b 預言者か。
 - c そうだ、私はあなたがたがたに言う、預言者よりも優れた者である。
- 27a この者については、このように書かれている。
 - b 見よ、〔私は〕私の使いをあなたの面前に派遣する。
 - c 彼はあなたの道をあなたの前に備えるであろう。
- 28a 私はあなたがたに言う、
 - b 女たちから生まれた者の中でヨハネよりも偉大な者は現れなかった。
 - c だが、神の国の中で最も小さな者も彼よりは偉大である。

7:27 出エジプト記23:20、マラキ書3:1

Q11 広場の子供たちの譬え (Q7:31-35=マタイ11:16-19)

- 31a この時代を何に喩えることができようか。
 - b それは何に似ているか。
- 32a 〔他の人々〕に呼びかけて (このように) 言う、
 - b 市場に座っている子供たちに似ている。
 - c 私たちはあなたがたに笛を吹いたが、あなたがたは踊らなかった。
 - d 私たちは喪に服したが、あなたがたは泣かなかった。
- 33a なぜならば、ヨハネが来て、食べも飲みもしないと、
 - b 「彼は悪霊に憑かれている」とあなたがたは言い、
- 34a 人の子が来て、食べも飲みもすると、
 - b 「見よ、彼は大食漢で大酒飲み、徴税人と罪人の友だ」とあなたがたは言うからだ。
- 35 だが、知恵はその子らから正しいと認められた。

II. 弟子派遣の説教

(4) 従うことと弟子派遣の説教

Q12 弟子の覚悟:従うこと (Q9:57-60=マタイ8:19-22)

- 57a ある人が彼 (イエス) に言った。
 - b あなたがどこに出て行かれようとも、私はあなたに従いましょう。

- 58a イエスは彼に言った。
 b 狐には穴があり、
 c 空の鳥には巣がある。
 d しかし、人の子には頭を横にする所がない。
- 59a また、他の人が彼に言った。
 b 主よ、私に戻らせて下さい。
 c まず、出て行って、私の父を埋葬するために。
- 60a しかし、彼に言った。
 b 私に従いなさい。
 c 死者に許しなさい、自分たちの死者を埋葬することを。
- Q13 弟子派遣の説教 (Q10:2-12=マタイ9:37-38、10:16、7-15)
- 2a 彼(イエス)の弟子たち…言う。
 b 収穫は多いが、働き人が少ない。
 c それゆえ、収穫の主に願い求めよ、
 d その収穫のために働き人を送り出してもらうために。
- 3 行きなさい。見よ、私はあなたがたを狼の只中に羊を(送り出す)ように派遣する。
- 4a [財布も]、頭陀袋も、
 b サンダルも、杖も持っていくな。
 c また、途上で誰にも挨拶をするな。
- 5a もしも家の中に入るならば、[最初に]あなたがたは、
 b [この家に]平和(があるように)と言いなさい。
- 6a もしそこに平和の子がいるならば、
 b あなたがたの平和が彼の上に来るであろう。
 c もしいかなかったならば、
 d あなたがたの平和があなたがたに[戻ってくるように]。
- 7a しかし、あなたがたは[同じ家に]留まりなさい。
 b 《彼らから出されたものを飲み食いしなさい。》
 c なぜならば、働き人はその報いに値するからである。
 d [家から家へと移動し回らないように。]
- 8a 町の中に[入って]、あなたがたを受け入れるならば、
 b [《あなたがたに出されたものを食べなさい。》]
- 9a そしてそこで病んで[いる人々]を癒し、
 b 神の国はあなたがたに近づいたと[彼らに]言いなさい。

- 10a 町の中に入って、彼らがあなたがたを受け入れないならば、
 b [その町の] [外へ] 出て [行って]、
- 11 あなたがたの足の埃を払い落としなさい。
- 12a あなたがたに言う、
 b ソドムの方がその日にはその町よりも耐えられるであろう。
- Q14 ガリラヤの町々に対する災いの言葉 (Q10:13-15=マタイ11:20-23)
- 13a 災いだお前、コラジンよ。災いだお前、ベツサイダよ。
 c なぜならば、お前たちの中で起こった力ある業が
 b ツロとシドンで起こったならば、
 d 彼らはとうの昔に荒布と灰をかぶって悔い改めただろうからである。
- 14 だが、裁きの時にはツロとシドンの方がお前たちよりも耐えられるであろう。
- 15a カファルナウムよ、お前は天にまで挙げられるであろうか。
 b ハデスにまで落とされるであろう。
- Q15 使者の権威 (Q10:16=マタイ10:40)
- 16a あなたがたを受け入れる者は、私を受け入れるのであり、
 b [また] 私を受け入れる者は、私を遣わした方を受け入れるのである。
- Q16 啓示に対する感謝 (Q10:21-22=マタイ11:25-27)
- 21a …その時、彼は言った。
 b 父よ、天と地の主よ、私はあなたに感謝します。
 c なぜならば、あなたはこれらのことを賢い者や知者に隠して
 d それらを幼い者に現わしたからです。
 e そうです、父よ、このようにしてあなたの前で御心が成ったのです。
- 22a すべては私の父によって私に委ねられています。
 b しかし、父以外に御子を誰も知りません。
 cd また、御子と御子が現わそうとした者以外に父を [誰も知りません]。
- Q17 目撃証人に対する幸いの言葉 (Q10:23-24=マタイ13:16-17)
- 23 あなたがたが見ている…ことを見ている眼は、幸いである。
- 24a なぜならば、私はあなたがたに言う、多くの預言者たちと王たちは、

- b あなたがたが見ていることを見たがっていたが、見なかったからである。
- c あなたがたが聞いていることを聞いたがっていたが、聞かなかったからである。

(5) 祈りについて

Q18 主の祈り (Q11:2-4=マタイ6:9-13)

- 2a あなたがたが祈る [時には]、[あなたがたは (こう) 言いなさい]。
 - b 父よ
 - c あなたの御名が崇められますように。
 - d あなたの御国が来ますように。
- 3 私たちに必要なパンを今日お与え下さい。
- 4a 私たちの負債を赦して下さい。
 - b 私たちに負債ある者を私たちが赦したように。
 - c 私たちを試みに遭わせないで下さい。

Q19 願い求めることについての教え (Q11:9-13=マタイ7:7-11)

- 9a あなたがたに言う。
 - b 求めなさい、そうすればあなたがたに与えられるであろう。
 - c 探しなさい、そうすれば見出すであろう。
 - d 叩きなさい、そうすればあなたがたに開かれるであろう。
- 10a なぜならば、すべて求める人は受け、
 - b 探す人は見出し、
 - c 叩く人に開かれるであろうからである。
- 11a あなたがたの中のどの人が、パンを求めるであろう自分の息子に
 - b 石を与えるだろうか。
- 12a あるいは、魚を求めるであろうのに、
 - b 蛇を与えるだろうか。
- 13a それゆえ、もしあなたがたが悪い者であっても
 - b あなたがたの子供に、良い贈り物を与えることを知っているならば、
 - cd 天の父は、求める人々に、はるかに良いものを与えるであろう。

註

- (1) C. H. Wisse, *Die evangelische Geschichte kritisch und philosophisch bearbeitet*, Leipzig: Breitkopf & Hartel, 1838.
- (2) H. J. Holzmann, *Die synoptischen Evangelien: Ihr Ursprung und geschichtlicher Charakter*, Leipzig: Wilhelm Engelmann, 1863.
- (3) A. von Harnack, *Sprüche und Reden Jesu*, Leipzig: J. C. Herricks, 1907; A. Polag, *Fragmenta Q: Texttheft zur Logienquelle*, Neukiechen-Vluyn: Neukirchener Verlag, 1979.
- (4) 荒井献『トマスによる福音書』講談社学術文庫、1994年(1984年)。
- (5) B. L. Mack, *The Lost Gospel: The Book of Q & Christian Origins*, San Francisco: Harper San Francisco, 1993 = パートン・マック『失われた福音書Q』青土社、1994年。
- (6) J. S. Kloppenborg, *Q Palallels: Synopsis, Critical Notes & Concordance*, Somona, California: Poloridge Press, 1988. J. S. クロップペンボルグ他『Q資料・トマス福音書』日本基督教団出版局、1990年
- (7) *JBL* 109 (1990), 499-501; *JBL* 110 (1991), 494-498; *JBL* 111 (1992), 500-508; *JBL* 112 (1993), 500-506; *JBL* 113 (1994), 495-499; *JBL* 114 (1995), 475-485; *JBL* 116 (1997), 521-525.
- (8) J. M. Robinson, P. Hoffmann, & J. S. Kloppenborg, *The Critical Edition of Q: Synopsis Including the Gospels of Matthew and Luke, Mark and Thomas, with English, German & French of Q and Thomas*, Leuvan: Peeters / Minneapolis: Fortress, 2000. Cf. P. Hoffmann & C. Heil (hrg.), *Die Spruchquelle Q: Studienausgabe Griechisch und Deutsch*, Darmstadt: Wissenschaftliche Buchgesellschaft / Leuvan: Peeters, 2002.
- (9) F. Neiryneck, "The Reconstruction of Q and IQP/CritEd Parallels," A. Lindemann (ed.), *The Saying Source Q and the Historical Jesus* (BETL 158), Leuvan: Leuvan University Press/Uttgeveru Peeters, 2001, 53-147.
- (10) Q15:8-10.
- (11) Q3:21-22, Q4:16, Q7:10, Q7:29-30, Q11:21-22.